安全データシート (混合物用)

1. 製品および会社情報

製品名 目地力ビ汚れイッキ落ち 会社名 ヤブ原産業株式会社

住所 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546

 担当部署
 販売営業部

 作成者
 技術部

電話番号 048-297-4111 FAX番号 048-290-1198 緊急連絡先 048-297-4111 推奨用途及び使用上の制限 業務用が取り剤

整理番号 1540032

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 皮膚腐食性/刺激性 区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1

特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器系) 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器系)

環境に対する有害性 水生環境有害性 (急性) 区分1

水牛環境有害性(慢性) 区分1

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル







注意喚起語 危険

危険有害性情報 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器の障害(呼吸器系)のおそれ

長期にわたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ(呼吸器系)

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。

容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

取扱い後はよく眼を洗うこと。

屋外または換気の良い場所でだけ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

【応急処置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の診察/手当てを受けること。 吸入した場合,空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察/手当てを受けること。 皮膚または髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水と 石鹸で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

漏出物を回収すること。

【保管】

涼しいところ/換気の良い場所で、施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成、成分情報

化学物質、混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (%)	CAS No.	備考
水	バランス	7732-18-5	
次亜塩素酸ナトリウム	1~3	7681-52-9	
水酸化カリウム	0~1	1310-58-3	安衛法
安定剤	1~5		
ゲル化剤	1~5		

[※] 代表値であり、規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着

した場合

: 付着物を布にて素早く拭き取ること。溶剤、シンナーは使用しないこと。

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とすこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診察を受けること。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に

外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

まぶたの裏まで完全に洗うこと。医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合: 誤って飲み込んだ場合には、口をすすぐこと。嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

気分が悪い時は医師に連絡すること。

負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受けること。

応急措置をする者の保

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

護に必要な注意事項

適切な換気を確保すること。

5. 火災時の措置

この製品自体は燃焼しない。

適切な消火剤 : 泡、粉末、乾燥砂、霧状水

使ってはならない消火剤: 酸との接触で有毒なガスを発生するので、酸性の消火剤は避ける。

特有の消火方法: 安全に対処できるのであれば着火源を除去すること。

危険を避けられれば燃焼源の供給を止めること。

火災発生場所の周辺は関係者以外の立ち入りを禁止する。

指定の消火剤を使用すること。 消火水の下水への流入を防ぐこと。

消火活動は風上より行うこと。

消火を行う者の保護: 適切な保護具(耐熱性着衣、空気呼吸器等)を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事 項、保護具および 緊急時措置

: 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用すること。

こぼれた場所は滑りやすため注意する。

屋内では換気をしっかり行うこと。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行うこと。

環境に対する注意事項 : 漏れ出した物質の河川、下水、排水溝、低地への流出を防止し、環境への影響を起こ

さないように注意する。

封じ込めおよび浄化の

: 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収すること。

方法·機材

多量に流出した場合、盛土などで囲って後処理すること。

スコップ、ウエス等で容器に回収すること。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管し、安全な場所に移すこと。

必要なら亜硫酸ナトリウムを用いて分解させて処理すること。

二次災害の防止策: 漏出物を回収すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策 : ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

排気、換気設備を設ける。また、容器はその都度密栓する。 皮膚に触れないようにすること。目に入らないようにすること。 安全取り扱い注

がない注

: 酸と接触したり、p Hが低下すると塩素ガスの発生が起きるので注意すること。

適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。

取り扱い後は手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策および

意事項

: 日光の直射を避ける。通風のよいところに保管すること。

保管条件

施錠して保管すること。

指定された容器以外に移し替えないこと。 容器内に重金属が混入しないようにすること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH(TLV-TWA)
水酸化カリウム	設定されていない	2mg/m³

タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気で

きる装置を取り付ける。

保護具

呼吸器用の保護具: 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

密閉された場所では局所排気装置、送気マスク等を着用すること。

手の保護具: 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具: 取扱いには保護メガネ、顔面保護具を着用すること。

皮膚および

: 取扱う場合には、保護衣を着用すること。化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

身体の保護具

特別な注意事項 : 取り扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保護具は定期的に点検すること。

9. 物理的および化学的性質

物理状態 : ゲル状

色 : 無色透明(赤色粒子含有)

臭い : 弱原料臭

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び

: データなし

爆発下限界及び爆発

: データなし

上限界/可燃限界

引火点: データなし自然発火点: データなし分解温度: データなし

PH : 13以上(原液、25℃)

: データなし

動粘性率 : データなし溶解度 : データなし

n -オクタノール/水分

配係数蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密

歯皮及び/又は相対 : データなし

相対ガス密度: データなし粒子特性: データなし

10. 安定性および反応性

反応性:情報なし

化学的安定性 光、熱、金属などに極めて不安定で、放置すると徐々に分解し有効塩素を失う。

危険有害反応可能性 : 標準的条件では危険な反応はしない。

避けるべき条件: 腐食性があるので、鉄製の容器は使用しない。

混触危険物質 : アミン類、アンモニア、酸との接触やPHの低下により塩素ガスを発生する。

危険有害な分解生成物 : 塩素ガス

11. 有害性情報

急性毒性

経 口 : 水酸化かりウム (LD50 ラット: 284mg/kg、区分3)

経 皮 : 分類できない

吸 入(気体) : 区分に該当しない(分類対象外)

吸入(蒸気): 分類できない吸入(粉塵・ミスト): 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 次亜塩素酸ナトリウム (区分1)、水酸化カリウム (区分1) 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 次亜塩素酸ナトリウム (区分1)、水酸化カリウム (区分1)

呼吸器感作性または皮膚感作性 : 呼吸器 分類できない

皮膚 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない発がん性: 分類できない生殖毒性: 分類できない授乳に対するまたは授乳を介した影響の分類できない

追加区分

特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露 : 水酸化カリウム (区分1:呼吸器系)

次亜塩素酸ナトリウム (区分3:気道刺激性)

特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露 : 水酸化カリウム (区分1:呼吸器系)

誤えん有毒性 : 水酸化かりウム (区分1)

12. 環境影響情報

生体毒性: 情報なし残留性・分解性: 情報なし生態蓄積性: 情報なし

十壌中の移動性: 情報なし

水性環境有害性

短期(急性): 次亜塩素酸ナトリウム (LC50 = 5µgFAG/L 甲殻類、区分1)

長期(慢性) : 次亜塩素酸ナトリウム (区分1)

オゾン層への有害性: 分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:環境への放出を避けること。

内容物/容器を関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約

して処理をすること。

容器、機器などを洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する

法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装 : 空容器は内容物を完全に除去してから処分すること。

空容器・包装等はリサイクルを推奨すること。

14. 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

関する特別の安全対 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を

策では行うこと。

国内規定

国連番号 : 1791

品名 : 次亜塩素酸塩溶液国連分類 : 8 (腐食性物質)

容器等級 : Ⅱ 緊急時応急措置 : 154

指針番号

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定め

られる運送方法に従うこと。

海上輸送: 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送: 航空法に定めるところに従うこと。

国際規制

国連番号 : 1791

品名 : 次亜塩素酸塩溶液 国連分類 : 8(腐食性物質)

容器等級 : II 海洋汚染物質 : 該当

MARPOLによるばら積: 該当 (Y類)

み輸送される液体物質

15. 適用法令

消防法 : 非該当

労働安全衛生法: 名称を表示すべき危険物及び有害物(法57条第1項)

水酸化カリウム

名称を通知すべき危険物及び有害物(法57条の2)

水酸化カリウム

毒物及び劇物取締法 : 非該当 化学物質排出把握管 : 非該当

理促進法(PRTR法)

船舶安全法 : 腐食性物質 航空法 : 腐食性物質

海洋污染防止法 : 有害液体物質Y類物質

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物(塗料用)〕(日本塗料工業会)

- ・SDS用物質データベース(日本塗料工業会)
- •溶剤便覧
- ·製品評価技術基盤機構(NITE)
- ・国際化学物質安全カード(ICSC)
- ・原料メーカーSDS

注意

本データシートは、作成または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・ 取扱い情報など)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した 場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。